

令和4年

第3回仙北市議会臨時会

市 政 報 告

仙 北 市

令和4年第3回仙北市議会臨時会 市政報告

令和4年第3回仙北市議会臨時会の開会にあたり、主要事項についてご報告します。

はじめに、新型コロナウイルス感染状況についてご報告します。県内では、毎週2千人台と高止まりの状況が続いています。仙北市のここ数週間の状況を見ますと、1日の感染者が一桁台と一定程度に抑えられている状況です。ワクチン接種が進み、基本的な感染対策が取られている効果だと考えています。市民の皆様には、感染者ゼロを目指し、より一層のご理解、ご協力をお願いいたします。

また、新型コロナの影響により低迷している地域経済の活性化を図るため、市民の消費や観光需要を喚起する経済支援対策等の検討を進めています。

次に、新型コロナウイルスのワクチン接種についてです。

3回目のワクチン接種について、2月から集団接種を進めていますが、5月9日現在の進捗状況は、12歳以上の2回目の接種を終えた2万1千905人に対し、1万3千114人の方が3回目の接種を終えています。接種率は59.9%になっています。

また、12歳未満の子どもたちの接種については、小児科医の立ち合いのもとで、小学5年生、6年生(10歳・11歳相当)の1回目の接種が4月24日に行われ、対象者340人に対し225人が接種を受け、接種率は66.1%でした。今後、5歳児までを対象に、7月頃を目途に2回の接種を行う予定です。

4回目の追加接種の方針が厚生労働省から示されていますが、接種対象者は、3回目接種の完了から5か月以上が経過した60歳以上の人及び18歳以上60歳未満の人のうち、基礎疾患を有する人等とされています。また、4回目接種については、努力義務を適用しないこととする

ことが適当であるとの方針も示されています。

この方針によれば、仙北市では、医療従事者等については6月中旬から、一般の対象者については7月から接種が始まることとなります。所要の予算については6月補正予算に計上することとし、必要な準備については既存の予算を活用して進めることにしています。

それでは、各部局等の主要事項及び諸般の状況を報告します。

【総務部】

◇角館オンデマンド交通「よぶのる角館」出発式について

5月17日、角館庁舎で角館オンデマンド交通「よぶのる角館」の出発式が開催されます。共同運営を行うJR東日本、運行事業を担う羽後交通、角館観光タクシーにより、記念すべきよぶのる角館第1号車の出発を祝います。

よぶのる角館は報道で取り上げられるなど、大変注目度の高い事業です。たくさんの市民、観光客の皆様にご利用いただけるよう周知に努めてまいります。

◇市税等の収納率について

速報値ではありますが、3月末現在の市税等の滞納繰越分収納率は、前年同月比で普通税が11.0ポイント増の34.6%、国民健康保険税が3.5ポイント減の30.7%、後期高齢者医療保険料普通徴収分が13.9ポイント減の34.5%です。

また、現年度課税分は、前年同月比で普通税が2.5ポイント増の97.5%、国民健康保険税が0.3ポイント増の94.9%、後期高齢者医療保険料普通徴収分が0.3ポイント減の96.9%となっております。

現年度課税分については、5月末の出納閉鎖まで、引き続き納付催告を行い、場合によっては差押を執行し、収納率の向上に取り組んでまいります。

◇仙北市DX推進について

行政DXへの取組について、3月に策定した「仙北市DX推進計画」に基づき、各部署に「DX推進リーダー」を配置し、SNSによる情報発信や行政手続きの電子化等により事務の効率化・高度化につながるよう進めていきます。

◇市民意識調査について

市政理念として掲げる幸福度全国NO,1のまちづくりの「見える化」実現のため、市民意識調査を実施します。調査結果を基にして、幸福度等に関する昨年度の事業成果の確認などを行っていきます。

◇行政評価について

現在、事務事業評価・施策評価について、部内で作業を進めており、6月議会において具体的な進め方を示します。

◇人材育成について

若手職員を中心として、研修等を通じた人材育成を行っており、行政マネジメントと、地域政策全体をテーマとする二つのチームを設定して進めております。具体的な人材育成の成果は、今後の進捗状況に合わせて議会で報告いたします。

◇原野火災及び車輛火災について

4月11日、西木町門屋の桜木内川河川敷で原野火災が発生しました。出火後、約2時間30分後に鎮火しましたが、枯れ草約1万平方メートルを焼きました。4月19日、角館町西長野で原野火災が発生し、枯れ草約1,100平方メートルを焼きました。4月22日、角館町西勝楽町の駐車場で普通乗用車が全焼しています。5月5日、角館町八割で原野火災が発生し、枯れ草約4,100平方メートルを焼いたほか、隣接する廃材置場へ延焼し全焼しました。5月7日、西木町上桜木内で原野火災が発生し、枯れ草約1,100平方メートルを焼きました。

これらの火災による人的被害はありませんでしたが、相次いで火災が発生しており、改めて市民へ注意喚起します。

【観光文化スポーツ部】

◇あきた花紀行について

今シーズンは、刺巻水ばしょう祭りは中止、かたくり群生の郷と角館の桜まつりは規模縮小で実施となりました。

かたくり群生の郷は、4月20日から30日までとなり6千人の来場、刺巻水ばしょうまつりは中止となりましたが、仮設トイレや管理人の設置など安全対策を施し2万人の来場がありました。

◇角館の桜まつりについて

角館の観光行事実行委員会を中心に、道路の右側通行、桧木内川堤の一方通行などの新型コロナ対策に取り組みつつ、昨年は実施できなかったライトアップ、河川敷での同居家族など少人数での飲食を復活させ、4月20日から5月5日まで開催しました。

シダレザクラは4月18日に開花、22日に満開、ソメイヨシノは4月19日に開花、23日に満開となりました。期間中は、新型コロナウイルス感染症以前に実施した令和元年度の140万1千人には及ばなかったものの、昨年度の34万2千人を上回る61万人にご来場をいただき、大型バスの台数も昨年度の4.2倍となるなど、観光需要の復活が見えつつあります。

新型コロナ対策として、仮設トイレへの手指用アルコールの設置や簡易検温器の設置を行いました。また、河川敷や武家屋敷通りなどに新型コロナ対策の看板の設置や広報、市のホームページやテレビCM、桜まつりのチラシにてマスク着用のお願いと人流制限の啓発、河川敷での大人数での飲酒飲食等を控えていただくなどを周知し、桜まつりを実施した結果、市民、観光客共に安全に桜まつりが実施ができたと考えております。

次年度以降については、新型コロナウイルス感染症の状況等をみな

がらとはなりますが、武家屋敷通りでの歩行者天国、桜並木第2駐車場にての屋台出店、芸能発表や河川敷での飲食等の解禁など、フルスペックでの実施を目指したいと考えています。

◇抱返り溪谷遊歩道について

4月末に冬季閉鎖の解除を予定していた抱返り溪谷遊歩道について、第二駐車場から上流方向、飯村少年弔魂碑までの間で、大雪が原因と思われる落石等により、誓願橋を含む3本の橋と回顧の滝展望台などが被害を受けており、当面の間、通行止めを継続します。

復旧については、秋田県と協議をして検討を進めているところです。また、第一駐車場から抱返神社、神の岩橋を經由して第二駐車場までの通行と、2か所のトイレの使用は可能です。

◇地域おこし企業人交流プログラムの活用について

4月から地域おこし企業人交流プログラムの制度を活用し、日本航空(派遣元:ジャルセールス)の社員1人を交流デザイン課に配属しています。これは、三大都市圏に所在する民間企業等の社員を3年間受け入れ、そのノウハウや知見を活かした活動を行っていただくプログラムです。

地域の活性化をきめ細やかに応援するために、千人の客室乗務員で組織されている「JALふるさと応援隊」の活用や、地域と世界をつなぐことで流動を作り、地域経済の活性化に向けた取り組みを永続的に行っている「日本航空地域事業本部」との連携など、グループの強みを活かした施策の提案や、地域の魅力や景観価値の向上等につながる事業の実施に期待しています。

◇武家屋敷の公開について

4月10日から市管理の岩橋家、小田野家、旧松本家の公開を始めています。公開2年目となる武家屋敷河原田家は、4月中旬以降入館者数を伸ばしており、対前年比170%程で堅調に推移しています。仙北

市角館伝統的建造物群保存地区の拠点施設として、引き続き職員による案内や展示内容の充実に努めてまいります。

◇全日本マスターズスキー選手権秋田たざわ湖大会について

4月1日から4日までの日程で、たざわ湖スキー場及び田沢湖スポーツセンタークロスカントリーコースを会場に、第46回全日本マスターズスキー選手権秋田たざわ湖大会が開催されました。

全国からアルペン競技に延べ692人、クロスカントリー競技に延べ47人が参加し、男女別年代別のグループに分かれ熱戦が繰り広げられました。新型コロナの感染防止に細心の注意を払って運営され、天候にも恵まれ、無事に盛会に開催されたほか、市内に延べ608人が宿泊されたことで、地域経済への波及効果も見られました。

◇田沢湖マラソンの開催について

4月27日の田沢湖マラソン実行委員会で、新型コロナの影響で過去2年延期されていた第35回大会を、9月18日に開催することが決定されました。

ゲストランナーの招待、前夜祭などは行わず、事前配布する抗原検査キットの検査結果や体調管理チェックシートの提出を義務付けるなど、実行委員会で定めた新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインに基づき、フルマラソン、20キロ、10キロ、ペアマラソンを例年どおり実施する予定です。

【農林商工部】

◇水田活用の直接支払交付金の見直しについて

農林水産省では、令和4年度から「水田活用の直接支払交付金」の条件を厳格化することを発表し、8年度までの5年間に一度も水張りが行われない農地は、交付対象水田にしないこと、牧草では収穫のみを行う場合、10アール当たり3万5千円から1万円に減額することなどの急激な制度変更が示されています。

このような唐突な見直しを受け、4月20日に、にかほ市で開催された市長会では、農林水産省に対し「交付対象水田の見直しについては、生産現場の実態や課題を十分に検証し、丁寧な説明を行うとともに、生産者の所得が減少せず意欲を持って生産活動に取り組めるよう支援措置を継続すること。」、「多年生作物(牧草)に対する支援については、現場実態を十分把握したうえで見直しを行うこと。」などの緊急要望を提案することを全会一致で決定し、国に対して強力に働きかけることにしています。

【建設部】

◇令和4年度国庫補助事業について

令和4年度社会資本整備総合交付金事業国庫補助金について、当初予算の内示率は、66.47%と昨年同様例年に比べて若干高い内示率となりました。これは橋梁補修や道路ストック点検の重点事業の道路メンテナンス補助事業が88.68%と高配分されたことによります。

また、従来から要望しております社会資本整備総合交付金事業の内示率は、54.49%と昨年度よりは若干高い配分となっておりますが、予定している事業進捗が望めない状況です。今後も県選出国會議員からの支援を得ながら、関係者と連携協力して強力な要望活動を行いたいと考えています。

◇水道事業について

国庫補助事業により、今年度も継続事業として、山谷川崎地区と卒田地区で水道未普及地域解消事業を行います。両地区とも配水管敷設工事が主体で、4月1日現在の国庫補助内示率は要望額に対して100%となっています。

また、水道未普及地域解消事業等の成果により、令和3年度末現在の水道普及率は65.42%となり、前年度より0.69ポイントの上昇となりました。仙北市持続可能な開発目標(SDGs)の令和12年度目標値7

1. 05%に向けて普及及び加入促進を進めています。

【医療局】

◇市立田沢湖病院院長の就任について

4月1日付で、市立田沢湖病院院長に星野良平前副院長が就任しております。

星野新院長からは、田沢湖病院の整備理念である「やさしさ・やすらぎ・やくわり」のもと、近隣病院をはじめ、各関係機関と密接に連携し、地域の方々に必要とされる病院を目指すとの方針が示されております。

◇診療体制について

田沢湖病院では、秋田県から医師1人の派遣を受け、昨年度に引き続き常勤医師4人体制で診療に当たっています。

角館総合病院では、秋田県からの派遣医師4人のほか、国立国際医療研究センターから1人、新たに研修医2人が赴任しています。これにより、総合診療科の医師が2人増えるなど22人体制で診療に当たっています。

◇オンライン面会の導入について

角館総合病院では、感染症対策として4月からオンライン面会を導入しております。利用時間は1回10分以内となり、詳しくは病院ホームページに掲載しております。利用実績はこれからですが、広報への掲載や入院時の説明など、周知を図ってまいりますので、是非ご利用ください。

また、田沢湖病院では、令和3年1月からオンライン面会を導入しており、4月は1件の利用がありました。今後も患者さんにご家族の利便性の向上や不安の解消、感染症対策などの効果が期待できることから継続してまいります。

以上、主要事項及び諸般の報告を申し上げます。本臨時会に提案している案件は、報告関係2件、専決関係3件、人事関係1件の計6件です。

慎重審議の上、ご可決を賜りますようお願い申し上げます、市政報告とします。